

## モニタリング

### 現状の課題

- 冠水頻度の減少により、高水敷の干陸化が進んでいます。
- その結果、ヨシなど湿地性植物が衰退、他方ツル性植物や樹木が繁茂し、河川特有の植生が減少しています。
- 瀬や淵、湿地帯、ワンドやたまりが減少し、生物の生息・生育環境が悪化。生物にとって住みにくい川になっています。

モニタリングの結果を評価しフィードバックを行います

### 整備内容

#### 実施項目

河川環境のモニタリングを実施するとともに、得られた基礎資料をもとに、生物の生息・生育環境に関する評価を行います。

- 1 住民との協働で整備した下河原地区ワンドのモニタリングを継続実施します。
- これまで実施してきた「多自然型川づくり」の評価を実施します。

#### 流域全体

■下河原地区のワンドでのワークショップの様子



## 河川形状

### 現状の課題

これまでの河川整備によって構築された堤防、高水敷、低水路等により、河川形状が不連続になっています。

- 川の横断方向（水域～高水敷・堤防～河川区域外）に連続性が分断されています。
- 縦断方向（山～湖・川～海）は、ダム・堰等の河川横断工作物によって分断されています。



平成14年



生物の生息域を遮断

河川形状の連続性の修復を目指します

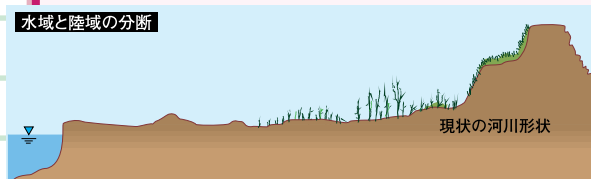
### 整備内容

#### 検討項目

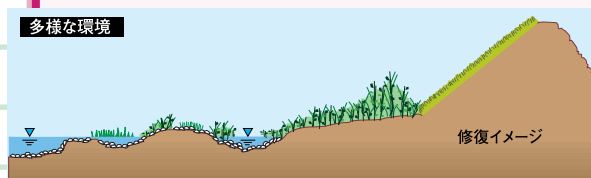
#### 横断方向の河川形状の修復

- 2 下加茂地区において、その修復方法等について検討します。

#### ■修復イメージ図



修復



- 河川形状を修復し、水陸移行帯を保全しつつ、再生についても検討します。

- 3 藻川（猪名川） 高田地区
- 4 藻川（猪名川） 東園田地区
- 5 北河原地区

#### 縦断方向の河川形状の修復

- 現状の堰、落差工等において、魚類などの遡上・降下に配慮した構造を検討します。

#### ■堰・落差工

- 6 大井井堰
- 7 三ヶ井井堰
- 8 高木井堰
- 9 久代北台井堰
- 10 上津島床固
- 11 池田床固

#### ■支川合流部

- 12 空港川合流部
- 13 余野川合流部

#### ■既設ダム

- 14 一庫ダム

#### ■魚道設置事例



施工前

施工後

魚道を横断する半すり鉢状の緩やかなスロープ状の魚道とし、様々な生態・サイズの魚介類が遡上しやすい設計としました。（いたち川・柏尾川合流点落差工）

## 水量

### 現状の課題

- これまでのダムの操作は、安定的な水供給のために一定の効果あげてきました。
- その反面、中小洪水も貯留したことで、下流河川の水位変動や攪乱を減少させました。
- ダム下流では、魚類の餌料となる藻類の生育を妨げるなど、生態系に影響を与えている場合があります。

自然流況に近い流量が流れるようにします

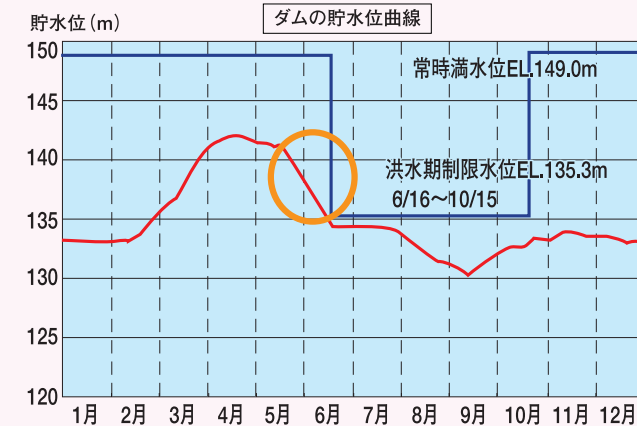
### 整備内容

#### 検討項目

- 15 治水・利水への影響を考慮した上で、水位変動や攪乱の増大を図るため、ダムの有効な操作方式、放流量などを検討します。

#### 一庫ダム

#### ■攪乱機能の低下を補うフラッシュ放流の試験運用の検討



フラッシュ放流など起こし、攪乱を生じさせる検討を行います。

— 平均貯水位  
— 制限水位

- 河川環境上で必要な水量を検討し、確保可能な水量を把握するために必要な諸調査を実施します。

#### 流域全体